



佐野ブランドキャラクター さのまる ©佐野市



「出流原PA周辺総合物流開発整備に関する基本構想書 [概要版]」
平成28年3月

編集 佐野市役所 総合政策部 インランドポート推進室

〒327-8501 栃木県佐野市高砂町1

電話 0283-20-3045

FAX 0283-21-5120

ホームページ <http://www.city.sano.lg.jp/>

出流原PA周辺総合物流 開発整備に関する基本構想書

[概要版]

栃木県佐野市

出流原PA周辺総合物流開発整備に関する基本構想書 [概要版]

はじめに

佐野市では、佐野市総合計画の将来像である「交流拠点都市」の実現のため、様々な事業に取り組み、まちづくりを進めています。

平成26年度には、「出流原PA周辺総合物流開発整備事業方針」を策定し、北関東自動車道出流原PA周辺にインランドポートを核とした物流拠点の開発整備を推進することとしました。

この度、事業の実現を図るため調査・検討を実施し、構想エリアなどの物流拠点整備の骨子となる構想を次のとおり策定しました。



基本テーマ

物流・高速交通機能を活用した
北関東圏域における広域的なネットワーク拠点の形成

こんな効果が期待できます

- 企業の進出に伴う新たな雇用の創出、定住促進
- 物流の効率化による地域産業の活性化、国際競争力の強化
- 企業立地に伴う市税・県税等の増収
- 公共交通の利用圏域拡大、周辺地域住民の利便性向上
- 首都圏への車両流入抑制、渋滞解消
- 温室効果ガスの排出抑制、地球環境負荷削減
- 観光振興、地域活性化による地域力の向上
- 被災地への緊急物資輸送、人的支援の速達性向上
- 大規模災害時の対応能力強化



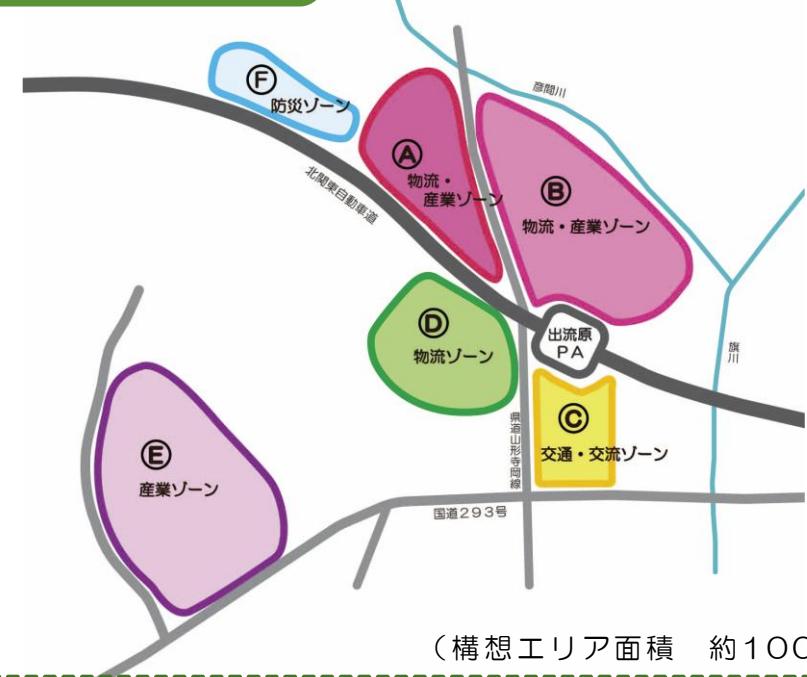
構想エリアは図のとおりとし、ゾーニングにあたっては、出流原PAにスマートインターチェンジの設置に向けた取組みを推進していることから、物流や交通の機能を出流原PA周辺に配置し、国道293号沿いに産業施設を集約することが効果的であると考えられます。

このような観点から地形・環境・道路状況により構想エリアをA~Fの6つに区分し、ゾーニングを行いました。

なお、構想エリアはゾーンごとに法規制や現況に差があることから、エリア全体の整備を同時に進めるよりも、段階的に分けて進めることが効果的であると考えられます。

構想エリア 及び ゾーニング図

構想エリア図及びゾーニング図



(構想エリア面積 約100ha)

ゾーン別の想定施設

- | | |
|--|--|
| <p>A 物流・産業ゾーン</p> <ul style="list-style-type: none"> • インランドポート (内陸型海上コンテナターミナル) • 物流センター • 産業施設 (工場・倉庫・事業所) <p>B 物流・産業ゾーン</p> <ul style="list-style-type: none"> • 物流センター • 産業施設 (工場・倉庫・事業所) | <p>C 交通・交流ゾーン</p> <ul style="list-style-type: none"> • 高速バスターミナル • ドライバー休憩施設 <p>D 物流ゾーン</p> <ul style="list-style-type: none"> • 物流センター <p>E 産業ゾーン</p> <ul style="list-style-type: none"> • 産業施設 (工場・倉庫・事業所) <p>F 防災ゾーン</p> <ul style="list-style-type: none"> • 備蓄倉庫 • 災害時における支援物資集積施設等 |
|--|--|

事業化に向けての 今後の課題

- ① 事業主体の検討が必要です。
- ② 事業区域の確定と整備スケジュールの調整が必要です。
- ③ 地域住民及び地権者等への周知が必要です。